

Nataliya Podolyak

沖縄キリスト教短期大学 保育科 准教授

【プロフィール】

取得学位、 大学・機関、取得年	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学士、リブイブ国立体育大学(保健体育とスポーツ)、1997年6月 ・人間科学修士、東亜大学、2014年3月 ・保健福祉博士、久留米大学、2018年3月 	
専門分野	体育、保健教育、障害児教育	
研究分野	幼児体育、子どもの座位活動	
研究職歴等	<p>平成19年～平成24年度 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業(新規分)事業名「筑後川流域圏における産学官民協働と地域コミュニティ開発に関する研究—健康生きがいのあるまちづくりを中心に—」、共同研究者・実行委員、2007年～2011年</p> <p>久留米大学比較文化研究科、研究員 2012～2019年</p> <p>久留米大学文学部、非常勤講師 2012～現在</p>	
担当科目	幼児体育Ⅰ、幼児体育Ⅱ、健康指導法など	

【研究活動業績】

研究業績 (主要論文・著書) (著書)	『ソーシャルワーク演習のための88事例～実践につなぐ理論と技法を学ぶ～』 共著、2013年4月、中央法規出版
研究業績 (主要論文・著書) (論文)	<p>『幼児の運動能力と運動遊びの実態に関する研究』2017年2月、日本比較文化学会『比較文化研究』第125号、13-22</p> <p>『中学生の障害児・者への受容行動変容を促す学習プログラム実践と効果の検討』2015年12月、日本比較文化学会『比較文化研究』第119号、263-274pp</p> <p>『保育園児の運動遊びに関する保護者の意識調査』2015年10月、日本比較文化学会『比較文化研究』第118号、239-248pp.</p> <p>『福岡県における特別支援教育体制整備等状況に関する研究』2012年2月、日本比較文化学会『比較文化研究』第103号、123-133pp</p> <p>『児童の思いやり意識育成のための障害理解学習の意義について』2011年2月、日本比較文化学会『比較文化研究』第95号、115-126pp</p> <p>『精神保健福祉士のスクールソーシャルワーク業務に関する検討』(共著)2010年12月、久留米大学健康・スポーツ科学センター研究紀要 第18巻、39-46pp</p> <p>『学習教育と福祉体験を組み合わせた交流教育の効果～交流教育のフィールドワークを通して～』2010年11月、日本比較文化学会『比較文化研究』第94号、331-340pp</p> <p>『ウクライナにおける障害をもつ子どもへのインクルージョン』2010年3月、日本比較文化学会『比較文化研究』第91号、107-116pp</p>



	<p>『チェルノブイリ原発事故の社会的影響の分析に関する研究』2009年11月、日本比較文化学会『比較文化研究』第89号、161-172pp</p> <p>『福祉学科専攻大学生と看護学科専攻学生の子育てイメージ比較』(共著)2007年12月、久留米大学文学部心理学科・大学院心理研究科紀要 第6号、21-28pp</p> <p>『社会福祉学科専攻大学1・2年生と3・4年生の子育てイメージ比較』(共著)、2007年3月、久留米大学文学部心理学科・大学院心理学科研究科紀要 第6号、91-98pp</p> <p>『社会福祉学科専攻大学生と看護学科専攻学生の子育てイメージ比較』(共著)、2006年12月、久留米大学健康・スポーツ科学センター研究紀要 第14巻、21-28pp</p> <p>『薬物依存症の理解とケア—予防的コミュニティの可能性を深める』「薬物依存症—病気の理解とお笑い療法」2006年9月、産業経済研究 第47巻、第2号、545-564pp</p>
研究業績 (学会発表など)	<p>日本社会分析学会、『ウクライナにおけるポスト・チェルノブイリ—現状と課題』、2006年12月</p> <p>精神保健福祉学会、『ウクライナにおけるポスト・チェルノブイリ時代の国民の意識変化』、2007年6月</p> <p>環境福祉学会、『ウクライナにおけるポスト・チェルノブイリ時代の環境と国民健康問題について』、2010年10月</p> <p>日本幼児体育学会、『運動遊びは幼児の運動能力と社会性に及ぼす影響について』、2014年8月</p>
社会活動等	<p>久留米大学生と地域との交流イベント『タグラクビー体験教室』、2016年12月</p> <p>久留米市立御井小学校(新体カテスト実施支援ボランティア)、2016年5月</p> <p>「ゆにばの杜」交流会の会員として(留学生支援ボランティア)、2014年5月～2017年3月</p> <p>久留米市立御井小学校(新体カテスト実施支援ボランティア)、2015年5月</p> <p>久留米市立御井小学校(オリジナル動遊びプログラム実践及び普及活動)、2014年11～12月</p> <p>久留米市立御井小学校(オリジナル動遊びプログラム実践及び普及活動)、2014年5～7月</p> <p>JOC ジュニアオリンピック選手強化トレーニングセミナー(指導)、2011年8月</p> <p>JOC ジュニアオリンピック選手強化トレーニングセミナー(指導)、2010年8月</p> <p>福岡県立少年自然の家「玄海の家」平和教育講座、2009年8月</p>
所属学会	<p>日本保育学会</p> <p>日本幼児体育学会</p> <p>九州体育・スポーツ学会</p>

一言	<p>あきらめない!!!</p> <p>夢を追って、失敗してもいいじゃない。それでも何とかなるものよ。(マヤ・アンジェロウ)</p> <p>夢を、人生を、やっていることを、今からやろうとしていることなどをあきらめない!!!</p> <p>あきらめたらそこで終わりです。難しくても、ありえなくても、何もかもうまくいなくても、休憩してもいいし、一步一步が小さくてもいいし、ゆっくりでもいい—あきらめずに、自分を信じて、前に進むこと。</p>
----	--